



生活協同組合おおさかパルコープ ■ 組合員総数：448,177人 ■ 出資金：205億786万円 (1月20日現在)



オンライン視聴した城東組合員会館の大ホールの様子

参加者の感想より

「居場所」の大切さがよく分かりました。自分たちの活動に生かしたいです。

お話を聞いて「いきいき昼食会」も居場所づくりなんじゃないかなあと思いました。コロナの影響で休止になっているので「行くところがない」と聞きますしね。

コロナ禍の今、スタッフや利用されている方の気持ちをどう繋ぎとめることができるか…。お便りなど出しているけれど…。



## オンライン開催 居場所づくり活動交流会

主催：大阪府生活協同組合連合会

12月11日 ウェブ参加 18名 (城東組合員会館や個人宅からなど)

地域の人が集う場、地域の活動拠点などを設置する取り組みが広がりつつある「居場所づくり」活動について、地域生協・医療生協の活動事例から学び生かそうと、オンラインで交流会が行われました(15生協・68名参加)。

パルコープからも、大阪府生協連からの要請に応じて、居場所づくりに関わるメンバーが参加。活動事例の報告では、大阪府下にある生協が運営する「居場所・たまり場」は60カ所以上あり、運営状況などそれぞれの特徴の違いはあるものの、地域にとって貴重な拠り所にもなっていることが分かりました。

### 岩手からの復興だより 35 (最終回)

東日本大震災で後方支援基地として機能した遠野市。私たちは、そこにあるNPO法人として支援活動を続けています。発災当初パルコープの役員さんが見えられ、「この状況では10年ぐらい支援が必要だなあ」と言われたことを今でもはっきりと覚えています。「大阪から10年の支援」それは言葉では言いあらわせないくらい大変なことです。

昨年からはコロナの問題で形は変わっていますが今も続けております。ボランティアの派遣、専従職員の派遣、各地のイベントへの大掛かりな支援等々枚挙にいとまがありません。

コロナが明けましたら皆さんでお越しください。私たちが復興した被災地をご案内します。これからも末永いお付き合いをお願いし感謝の言葉とします。本当にありがとうございました。

### これからも被災地に寄り添って

#### 遠野市

NPO法人  
遠野 山・里・暮らしネットワーク  
会長 菊池 新一さん



(前列左から2人目が菊池さん・2016年当時)